

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

山形県 尾花沢市大石町環境衛生事業組合（事業会計分）

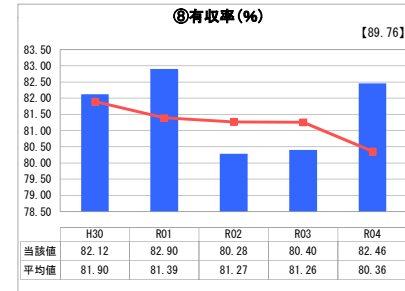
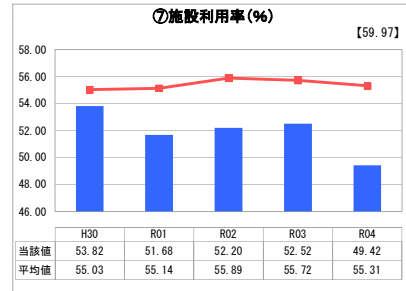
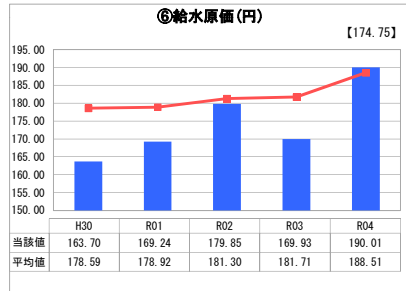
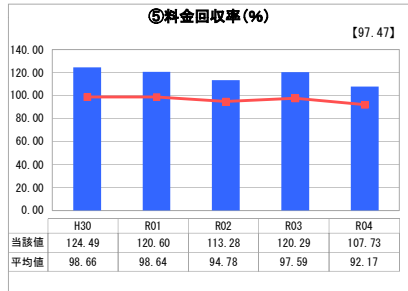
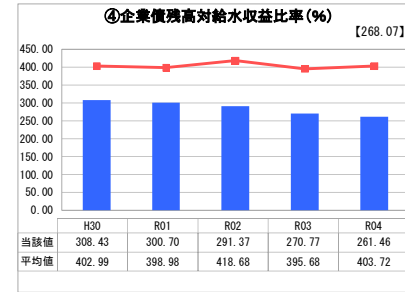
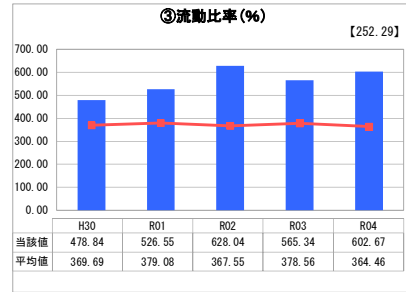
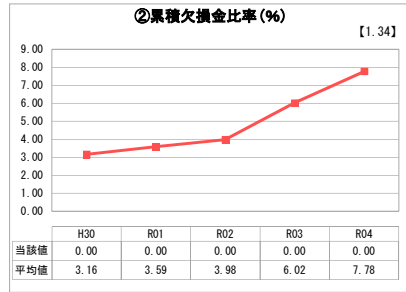
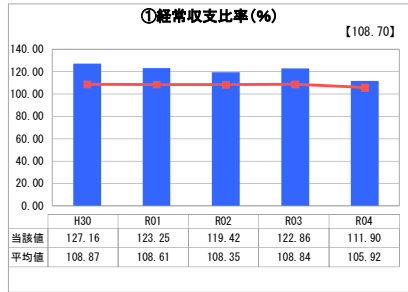
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	81.53	75.33	4,400	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,476	58.88	262.84

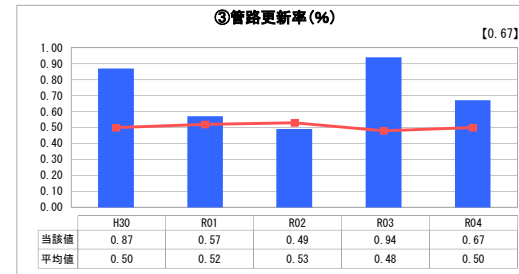
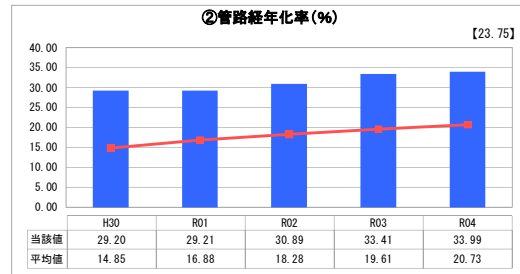
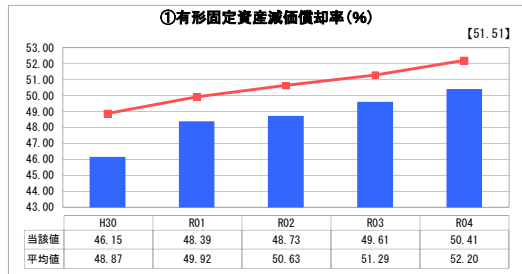
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超え、平均値も上回っているが、経年で一番低い指数であることから更なる費用の削減等経営改善に向けた取組が必要である。  
 ② 累積欠損金は発生していない。  
 ③ 流動比率は平均を上回っているが現金等の流動資産が年々着しく減少していることから将来見込みを踏まえた経営改善を図っていく必要がある。  
 ④ 企業債残高対給水収益比率は平均値よりも企業債水準が適切かの分析を行う必要がある。  
 ⑤ 料金回収率は100%を超えているが、年々給水収益は減少している。健全な経営を続けていくため料金の見直しに着手する必要がある。  
 ⑥ 給水原価90円を越えた現状を踏まえ、更なる維持管理費の削減等、経営改善の検討を行う。  
 ⑦ 施設利用率は平均値よりも低い数値であるため、将来の給水人口の減少等を踏まえ、適切な施設規模であるか状況を把握する必要がある。  
 ⑧ 有収率は全国平均より低いことから施設の稼働が収益に反映されていない状況にあるため、有収率を100%に近づけるよう漏水等の原因調査の必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率と管路経年率は年々数値が高くなり、管路更新率は低くっており法定耐用年数に近い資産や法定耐用年数を経過した老朽管を保有している状況にある。  
 施設や管路の更新等の必要があると考えられるため、投資計画等の見直しを行う。  
 また、更新等の財源確保が必要であり、経営改善に向けた取組が必要である。

## 全体総括

経常収支比率、料金回収率ともに数値が100%を超えているが、給水人口や水需要は年々減少していくことが予想され、給水収益の減少は続くものと考えられる。  
 更なる費用削減と事業の効率化に努めるとともに、料金改定については、財務基盤の強化を図るため、速やかに料金水準の適正化に向けた検討を行い、安定的な水道料金を確保するための取組が必要である。  
 また、施設や管路の老朽化が進んでいる状況であり、更新等の費用が増加していく見込みである。今後も重要度や緊急度等の優先順位と収支バランスを考慮しながら、計画的に事業に取り組みたい。